

国語 第3学年 きょうみを持ったことをしょうかいしよう

検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：接着剤の今と昔について、興味をもったことを紹介する目的で中心となる語や文を選び、要約する。時代ごとの説明から内容を選び、紹介の中心が変わらないよう必要な内容を選ぶ。C(1)ウ・C(1)カの学習として、目的に合わせた要約と紹介メモ。中心、残す語句、省く細部、短くしても変わらない内容を確認する。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、紹介する目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約し、考えたことを共有しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)ウ・C(1)カの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：目的に合わせた要約と紹介メモを残す。中心、残す語句、省く細部、短くしても変わらない内容を確認する。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)ウ・C(1)カに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：各段落の最初の文だけをつなぐ。重要な条件を消して意味を変える。これについて、紹介したい中心を先に文で決め、関係する説明に印を付ける。要約文を原文と比べ、今と昔、材料や用途などの対応を取り違えていないか確かめる。〔知識及び技能〕(2)アとC(1)ウ・C(1)カを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「紹介したいことが伝わるように短くするなら、どの説明は残す必要ですか。なくすと意味が変わる言葉はどれですか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)ウ・C(1)カに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：目的に合わせた要約と紹介メモは紙に記録できる。中心、残す語句、省く細部、短くしても変わらない内容を確認する。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)ウ・C(1)カの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は東京書籍の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)ウ・C(1)カで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：要約の字数を固定するのか。

返し：C(1)ウの中心は目的に応じた重要な語や文の選択である。字数を教師が設定する場合も、その条件を満たすことだけで判断せず、中心と条件が保たれたかを見る。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「紹介したいことが伝わるように短くするなら、どの説明は残す必要ですか。なくすと意味が変わる言葉はどれですか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)ウ・C(1)カに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

